

ディスカッション講演会

## 子育て真最中のお母さんに聞かせたい話（第2回）

妊娠・出産を経て、ほとんどのお母さんは出産後の身体変化、環境変化、子育て生活、社会復帰タイミングなどについて悩みを抱えています。

しかし、子育てを中心とした家庭生活にするか、社会復帰して家計を助け、なるべくブランクを小さくしてキャリアを続けさせるかを、両者両立するのが難しいのは実情であります。

いつ復帰するかを選択する余地も少なく、本来は親子分離活動が個々の母子状態に合わせて行われるべきものの、現実上には配慮されていなく、追い込まれて子どもを保育所に入れるケースも多く見られます。そうしたら、最少年齢生後半年もたない子どもは“出勤時間”がお母さんより長く（お母さんが子どもを預けてから出勤、退勤してからお迎えなので）、それは約6年間も続きます。

仕事復帰後も、子どもが病気などでなければ、会社側にも、保育所側にも休むと申し出にくく、子どもと母親の接したい気持ちは基本的には無視されています。

その一方で、働きたい意欲を辛抱して、子育てを中心と生活をしているお母さんもたくさんいらっしゃいます。その場合は、いざ子どもが成長し、自然に親子分離するようになる時に、母親のほうはキャリアブランクが長いと、社会復帰難民になる状況も多くみられます。

ワーク（自己実現・キャリアを維持）とライフ（子育て生活）のバランスをとることに悩んでいることは、子育て真最中の母親全員とはいえる現代日本の社会問題だと言っても過言ではないと考えております。

実は、子育ては社会活動であるべきだと考えております。お母さんたちが自己実現意欲を抑えて果たしたのは社会的責任であると社会全体は認識すべきだと考えております。その社会活動はお母さんたちが孤独を感じさせる活動であるべきではありません。

子育て活動の過程の中に、お母さんたちの精神状態は子どもたちの成長に大きく影響を与えることも多数の研究で判明しています。

ある中学校の担任教員の話によると、残念ながら、中学校ではお母さんがうつ病だと、生徒もうつ症状がみられることが多いです。

この講演会プロジェクトの目的は子育て真最中のお母さんをもっと明るく、元気でいられることは日本の将来にかかわることだと言っても過言ではないと考えて、もっと子育て中に専門家、社会の有識者の話を聞ける場を設けて、お母さんたちの心のケア、それから、子育てに関するリアルな問題を解決に導くことだと考えて開催しております。

講演会主催 特定非営利活動法人 心創り・智慧創り研究所  
子育てサークル「ママはたいようだ！」

講演講師 桐花教育研究所所長  
元日本保育学会理事  
日本女子大学家政学部児童学科卒  
幼稚園教諭1種免許状  
小学校教諭1種免許状所持  
横山範子

参加費 無料

開催日時 2018年3月8日(木曜日)  
10:30~12:00 (10時から受付開始)

開催場所 東京都小平市小川西公民館 講座室

連絡先 特定非営利活動法人 心創り・智慧創り研究所  
事務局 吉田阿奈  
Mail : [mcpc2013@yahoo.co.jp](mailto:mcpc2013@yahoo.co.jp)

アンケート

心創り・智慧創り研究所 賛助会員で ある ・ ない

参加者氏名	年齢	お子さん年齢

今回の講演会についての感想やご提案などを自由にお書きください。

--